令和7年度　江戸川区立下鎌田小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	―しなやかで、たくましい心とからだを育む下鎌田小― 〇思いやりのある子 〇よく考える子 〇明るく元気な子		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	〇自分のめあてに向かって最後までやり通す子供 〇友達との競い合いを通して、自他を尊重できる子供 〇探究心が旺盛で、何事にもチャレンジし、失敗してもへこたれない子供 〇美しいものに感動する豊かな感性をもつ子供
前年度までの本校の現状	成果	〇統合1年目は実施できなかった遠足や持久走大会を実施し、特別活動の充実を図ることができた。 〇校内研究を算数にするとともに、学力向上の取組を算数を中心に展開し、基礎学力の底上げを図った。 〇体力テストでは96項目中66項目が東京都平均を上回った。	課題	〇運動会の参観方法など課題が残った。 〇全国学力調査では全国平均程度、更なる取り組みが必要。 〇児童数に対して校庭や体育館が狭いため、毎日運動できる場所を確保するのが難しかった。 〇朝や登校時等、自発的に挨拶をできる児童が少なかった。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	**学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得**	・放課後補習教室の実施・有効活用 ・電子ドリルや東京ベーシック・ドリルの活用	・区診断テストにおける全国平均との差を2ポイントアップ。 ・1，2年生は国語・算数のまとめテスト平均正答率90%を目指す。											
	家庭学習習慣の確立	・ICTを活用した授業の実施 ・ミライシードをはじめとした学習アプリやiPadの日常的な活用を図る。	・江戸川っ子study week!を実施し、ドリルパークの家庭学習を80%以上の児童が修了。											
	授業改善の推進	・高学年での教科担任制の実施。 ・研究授業6回実施。 ・OJT研修年10回以上実施。	・全国学力調査の質問紙調査で算数・国語が「よくわかる」60%以上。 ・授業改善が進んだと実感する教員80%以上											
	〇読書科の更なる充実	・朝読書69回以上。 ・学校応援団と連携した読み聞かせ毎学期実施。 ・各学年12時間以上の読書科授業の実施。	・読書を「好き」と答える児童70%以上。 ・1日の読書30分以上する児童40%以上。											
体力の向上	**運動意欲や基礎体力の向上**	体育の授業や休み時間における運動遊びなど、主体的な運動の実施による運動意欲の向上	・体育科の実技研修学期1回以上実施。 ・体力テスト合計点を全学年と平均以上。 ・1週間当たりの運動時間420分以上を60%以上。											
		・学期に1回のなわ跳び週間の設定	・70%以上の児童が江戸川区なわ跳びコンテストに参加											
共生社会の実現に向けた教育の推進	**特別支援教育の推進**	・巡回指導教員、SC、特別支援Cの連携を深め、個に応じた対応を推進する。	・巡回指導教員による2年生全学級への理解教育の実施。											
	副籍交流の実施	・近隣特別支援学校に通う児童との副籍交流を実施する。	・年間を通して副籍の児童との交流を実施。											
	人間関係の基礎となるコミュニケーションスキルの向上	・学校全体であいさつを励行し、元気でさわやかな挨拶ができるようにする。	・「すすんであいさつをする」について児童の自己評価「よくできた」を90%以上、保護者による好評価70%以上。											
不登校・いじめ対応の充実	**不登校、いじめ等への対応力の強化**	・生活指導夕会による児童の情報共有を毎週実施。	・関係機関等どこにもつながっていない不登校児童0人。 ・いじめ未解決事案0件。											
	エンカレッジルームの活用	・エンカレッジルームを活用した登校支援。	・エンカレッジ・サポーターを週４日配置。 ・エンカレッジルームの担当教員を毎時間配置。											
地域社会に開かれた学校（園）の実現	**〇学校（園）ホームページの充実等**	・各学年、月に2回以上はHPを更新。 ・tetoruで学校情報をタイムリーに発信。	・「学校は、教育活動等の情報を分かりやすく、タイムリーに保護者に伝えている」好評価90%以上。											
	〇学校公開の充実	・学校公開を活用して、学校の全曜日の授業を保護者が参観できるようにする。	・学校公開を年4回実施。 ・「学校は保護者の要望を受け止めて対応している」好評価80%以上。											
	〇学校関係者評価の充実	・保護者や地域が学校の教育活動を評価する機会を設定。 ・年3回学校評議員会を実施。	・Formsを活用し、毎学校公開後に広く保護者や学校関係者の意見を集め、学校経営の改善に生かす。											
特色ある教育の展開	**「本物の体験」を通して豊かな心を育成**	ゲストティーチャーによる授業・体験の実施	各学年、ゲストティーチャーによる授業を実施し、よさを実感することのできた児童90%以上（アンケートによる）。											
	児童の願いを実現する活動	・金管バンド、ネオホッケークラブの設置	1学期に金管バンド、2学期にネオホッケークラブを設置し、児童の満足度90%以上。											